

## 長崎くんちナビ サービス提供の背景と歩み

### サービス提供の背景

- ・長崎くんちは原則的に10月7～9日 曜日は関係無し → 市民は学校や仕事終わってから急いで見物に出発
- ・約2km四方のエリア内を各出し物は3日間ずっと移動しながら演し物を披露している
- ・しかし大まかなスケジュールしか決まっていないので発見は困難 → 大規模な鬼ごっこ状態
- ・遭遇する可能性の高い繁華街などに人が集中し大混乱 → 2つくらい演し物と遭遇したらラッキー
- ・GPS付き携帯電話を使ったらリアルタイムに情報提供できるのでは？
- ・会社に許可取るの面倒なので、こっそりゲリラ的に実験しよう と趣味の延長で2002年にサービス開始



## 2016年時点の提供内容

スマートフォンの性能が向上したのでパソコン用とスマートフォン用のサイトをリニューアルし統合



パソコン用



スマートフォン用

グーグルマップをベースにして、演し物の位置や関連位置情報を提供



地デジのデータ放送は継続



スマートフォンアプリ提供は終了  
従来型携帯電話向けサービスは終了

## サービスの仕組み

GPS衛星



緯度経度



緯度経度



### ②情報処理用Webサーバ

端末から送られてくる緯度経度の位置情報をデータベースに格納し、プログラムで処理することにより地図と重ね合わせ提供いたします。

どこ?

どこ?



### ①位置発信用端末

市販のスマートフォンを使用します。  
当社開発のアプリを起動すると、一定間隔で現在の緯度経度の情報をWebサーバに自動送信し記録していきます。  
演し物に取り付ける事もできますが、ご迷惑をかけるないようにするため、アルバイトが端末を持って演し物に随行しています。



### ③位置閲覧用端末

お手持ちのパソコンやスマートフォンからWebサーバにアクセスすると、演し物の現在位置がほぼリアルタイムで地図上に表示されます。

# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

## 情報リテラシー・セキュリティ事業

### 1) ネットの安全・安心けいはつコンクール

#### 【コンクールの概要】

9月 1日(木)～1月13日(金) 募集期間  
1月18日(水) 作品審査(佐賀商工ビル7F大会議室)  
2月18日(土) 表彰式(アバンセホール)  
2月14日(火)～2月22日(日) 受賞作品展示(アバンセ1Fギャラリー)  
※後日、受賞作品をリーフレット(作品集)化し、学校現場・会員宛に配布

#### 新たな取組



#### 『受賞作品展示』+『ICT安全安心相談ブース設置』

- ・実施日:2月25日(土)～26日(日)
- ・場 所:モラージュ佐賀店(南館1階)
- ・その他:相談ブースには、「ITサポートさが」の相談員を配備。  
親子で取り組んでもらう『情報モラルクイズ』『アンケート』も実施

幹事の皆様へのお願い

本事業の職場内における周知について、ご協力をお願いいたします！

# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

## 情報リテラシー・セキュリティ事業

### 2) サイバーセキュリティ対策シンポジウム(2/14開催予定)

#### ◆情報セキュリティ対策に関するシンポジウムについて、後援予定

- ◇主催 佐賀県ネットワーク・セキュリティ対策協議会  
佐賀県警察本部、佐賀県
- ◇開催予定日時 平成29年2月14日(火)13:30~16:00
- ◇開催予定場所 アバンセホール(佐賀市)
- ◇参加人員 300名程度(主に県内中小零細企業の経営者)  
↑実際に標的にされる恐れのある企業経営者対象
- ◇次第
  - (1) 主催者あいさつ
  - (2) 講演Ⅰ(講師:名和 利男 氏/サイバーディフェンス研究所)
  - (3) 講演Ⅱ(講師:西 貴 氏/佐賀銀行業務集中支援部)
  - (4) トークセッション



# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

## 買物困難者支援実証事業・ICT利活用促進調査研究

### 【前回幹事会決定事項】

「拠点となる施設の周辺の消費者を対象に、事前の実態調査を行う。」

### 進捗状況(10月~12月)

1) 調査研究チームメンバー(佐賀大学羽石研究室)と事務局により、まいづる関係者及び買物拠点協力施設関係者にヒアリングを実施(H28.10)

⇒ まいづるにおいては「ネットスーパーの運用」、協力施設においては「朝食支援」が課題となっており、本事業に期待されていることを再確認

2) その後、拠点施設周辺住民に対し、地域の民生委員の協力を得て、買い物の実態について訪問調査を実施(調査H28.11 分析H28.12)

⇒ 協力施設隣接地区(十人町・元石町)に対象を絞り、「現在」困っている方は少ないが、「将来的な不安」を感じている方は相当数存在することを確認

# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

## 1)まいづる関係者及び買物拠点協力施設関係者へのヒアリング概要

日付/	概要	結果等
10月19日(水) /まいづる999	<p>【宅配担当係長中島様を訪問】 「まいづる999宅配お届け便」についての概要、利用者情報、現状の課題等についてヒアリングを行った。 [訪問者:事務局、佐大生2名]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットスーパーのシステムが、ベンダーへの外部委託のため、現状のシステムを本事業のために改良を行うことは難しい。</li> <li>・シニアの方は、電話・FAX注文が多いので、ネット注文が増えてくれることを望まれている。</li> <li>・ネット便の広報がうまくできていない。</li> </ul>
10月19日(水) /(株)スマイル ソーシャル ワーカーズ	<p>【常務取締役江藤様を訪問】 通所者の買物状況、施設が買物支援について抱える課題、本事業に対する期待等についてヒアリングを行った。 [訪問者:事務局、佐大生2名]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所者の3割程度が買物に困っている。</li> <li>・朝食支援が手薄になっているため、本事業により解決できればと期待されている。</li> <li>・通所者については、タブレットよりもTV型のような簡単操作が良いと思われる。</li> <li>・周辺住民へのリサーチ方法についてアドバイスをいただく。</li> </ul>

# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

日付/	概要	結果等
10月26日(水) /まいづる本部	<p>【まいづる木下社長を訪問】 本事業の進め方について、進捗報告と、事業を行う上でのお願いをした。 [訪問者:羽石幹事、佐大生2名、事務局]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点施設への配達は、個々の注文額が少なくても、手数料を配慮して頂けることを確認</li> <li>・ネットスーパーにおける顧客情報・受注情報等で提供可能なものを頂けることを確認</li> </ul>
10月26日(水) /(株)スマイル ソーシャル ワーカーズ	<p>【代表取締役小塚様を訪問】 まいづるで確認したことの報告、本事業における期待・問題点を確認、周辺住民へのヒアリング方法に対する知恵を頂いた。 [訪問者:羽石幹事、佐大生2名、事務局]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所者には認知症患者が多いので、トラブルの問題も考えて、実証対象可能な方をケアマネージャーに選定予定</li> <li>・最初のステップとして、施設のアカウントを使用してのサービス展開は可能</li> <li>・来年度以降、介護予防者を受け入れることができるようになれば、周辺住民も含めて大々的に事業展開可能だと思うが、最初は少人数でのスモールスタートの意向</li> <li>・周辺住民へのヒアリングを行うために、元石町と十人町の民生委員を紹介</li> </ul>
11月8日(火) ～ 11月25日(金)	<p>【民生委員訪問、元石町・十人町(施設周辺)住民に対するヒアリング】 民生委員への事業概要説明及びリサーチ協力依頼、施設周辺住民を訪問し、買物環境やICTへの使いこなし状況等を対面リサーチ [訪問者:事務局、佐大生2名]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者独居、高齢者夫婦世帯を中心に2町73世帯で調査</li> <li>・まとめはスライド40を参照</li> <li>・調査内容の詳細については、スライド32～40を参照</li> </ul>

# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

## 2)買物拠点協力施設周辺住民への調査(佐賀大学羽石研究室による)の概要

### ◆調査対象エリア [唐津市]

買物拠点協力施設である「セカンドハウス(唐津市町田)」に隣接する地区①及び②

①十人町:世帯数は約250(うち70~80世帯が高齢者独居)

②元石町:世帯数は約350(うち50世帯程度が高齢者独居)

### ◆高齢者独居、高齢者夫婦世帯を主に、(十人町37世帯)+(元石町36世帯) =(計73世帯)

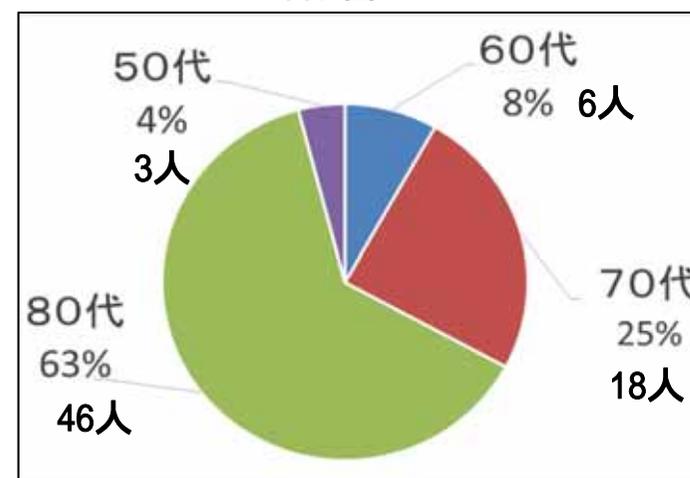
を民生委員と共に戸別訪問し、調査を行った。

※11/8に民生委員2名(十人町・元石町)に  
事業概要を説明し、調査協力依頼



※11/13~25にかけて、佐大生2名が民生  
委員に同行し、戸別訪問によるヒアリング実施

年齢層



# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

## 調査対象エリア地図



# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

## 調査に当たって

### ◎仮説

- ① 買物に困っている方(将来的な不安を含む。)は存在する
- ② 買物に困っている方には、各々に様々な要因がある
- ③ ②の要因において、ICTで解決し得るものがある
- ④ 現在は困ってなくても、将来的な不安を抱えている方がいる
- ⑤ ICTでの対策を行う上で、利用者側のICTの使いこなし支援が必要



### ◆住民への調査項目

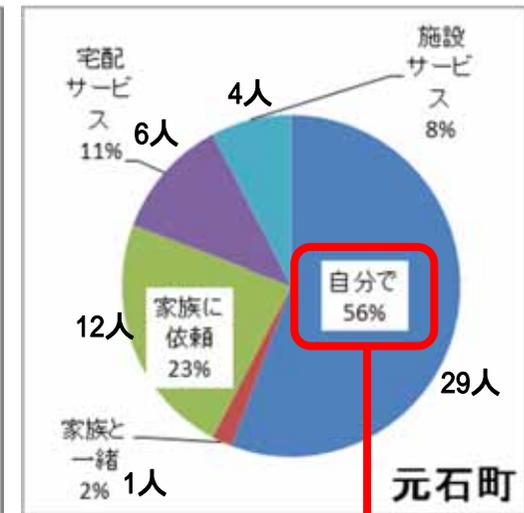
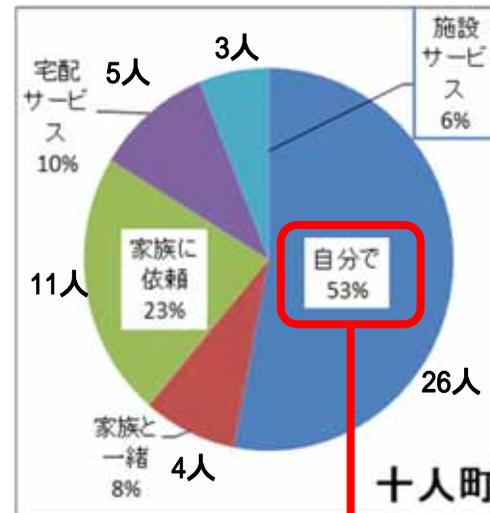
- ◇ 普段の買物環境 「移動手段」、「頻度」、「誰が？」
- ◇ 現在、買物に困っている(不便に思っている)事
- ◇ 今後、買物に不安を感じている事
- ◇ 本事業に対するニーズ
- ◇ ICT機器の利用状況、家庭におけるネット環境
- ◇ ICTリテラシー

# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

## 調査結果の概要

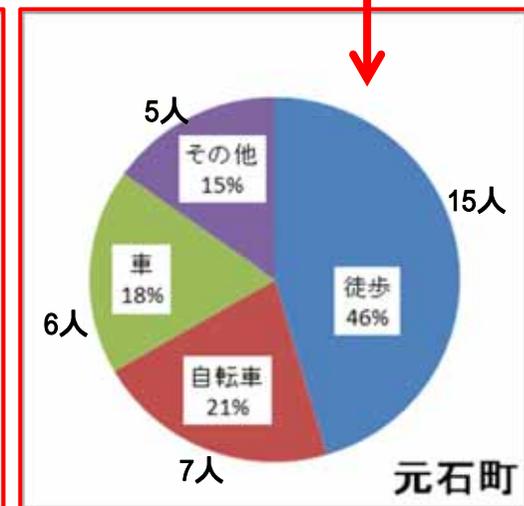
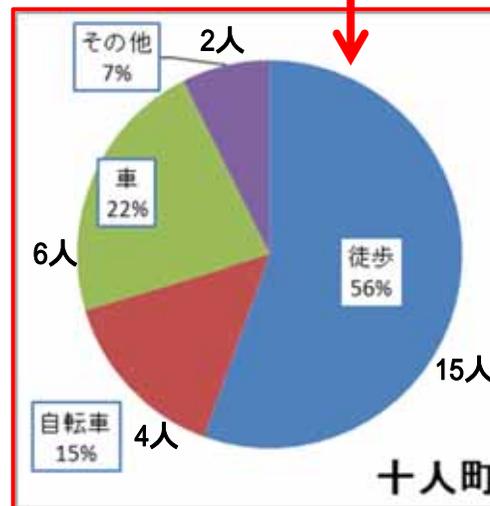
### ◆誰が買物に？ 複数回答

- ・約5割の方が、「家族」や「施設」等  
にお願いし、自分で買物ができて  
いない。
- ・米や洗剤等重たいものは家族に  
お願いし、他は自分でとの回答  
された人もいた。



### ◆買物移動手段は？ 複数回答

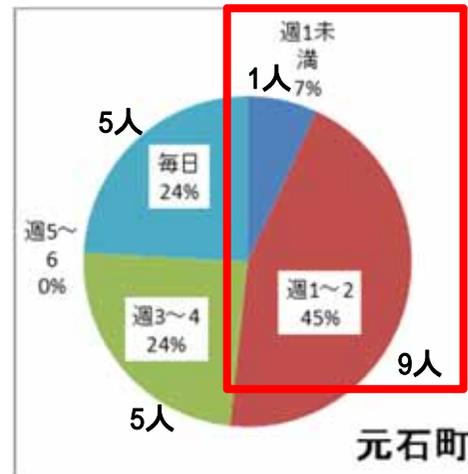
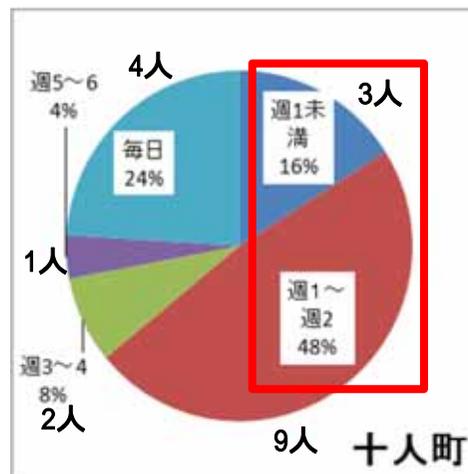
- ・約5割の方が、徒歩での移動  
最近車の運転をやめた方もいて、  
車利用の割合は低い
- ・高齢者には大変な坂道があったり、  
道幅が狭く自動車等での通行が  
困難な場所があり、将来的にアク  
セスが大変になっていくと思われる。



# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

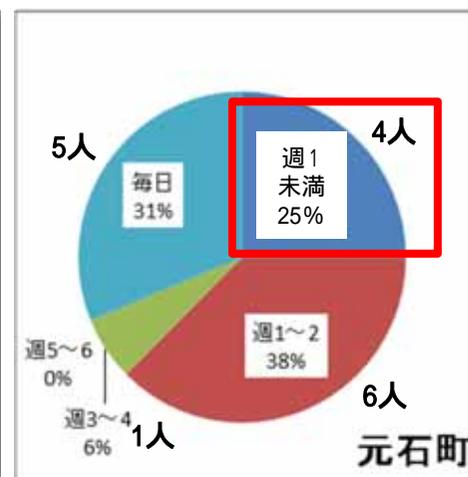
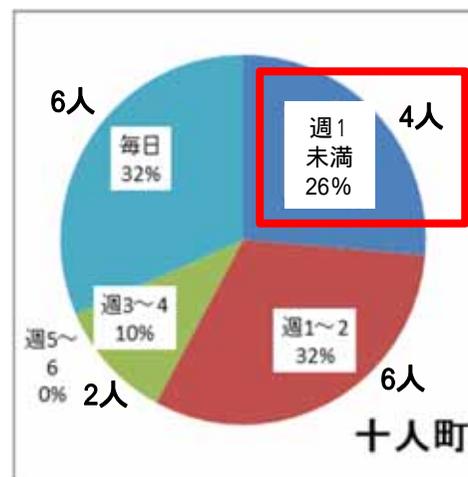
## ◆自分で行く人の買物頻度 (十人町19人・元石町20人)

- ・半数以上が、週2回以下と回答
- 最寄りのスーパーでも歩いて15分程度かかるため、**1回の買物**でまとめて購入する人が多い



## ◆他人に依頼している人の買物頻度 (十人町18人・元石町16人)

- ・半数以上が、週2回以下と回答
- ・「自分で行く(行ける)人」と比べると週1回未満の割合が多い。
- **行きたいけど、行けていない現状が読み取れる**



# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

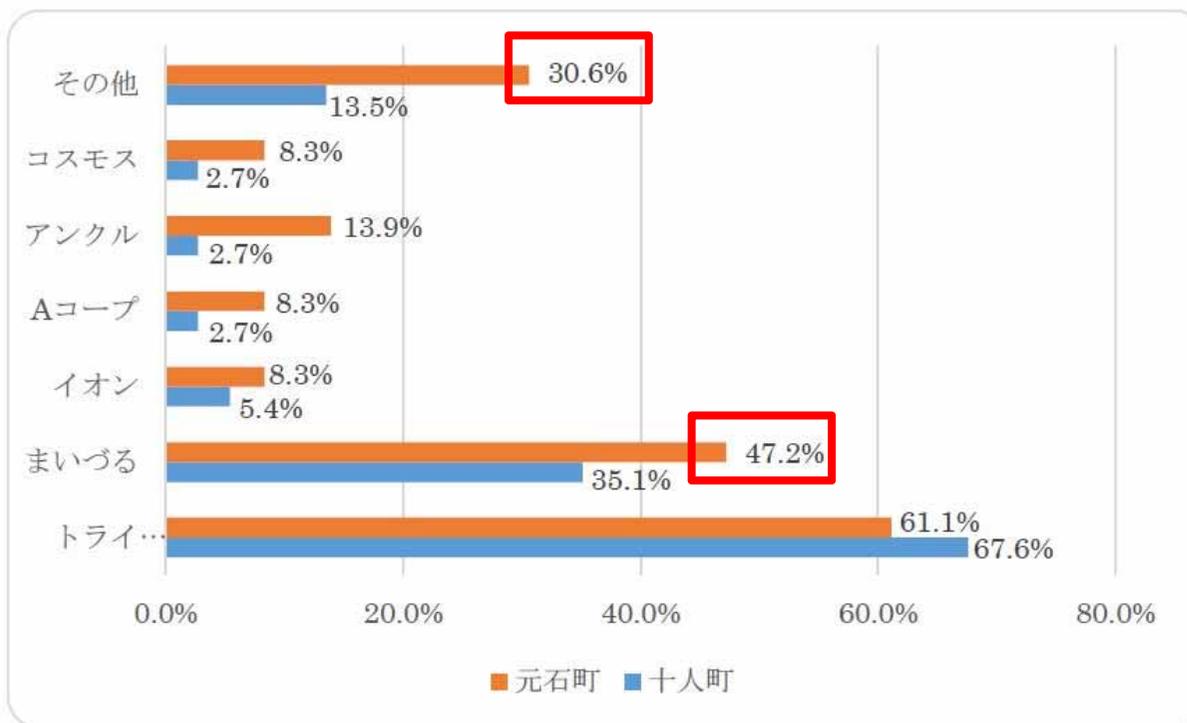
## ◆利用しているスーパー等

[十人町の住民]

- ・「**トライアル**」が比較的に近い(200m~500m)ため、徒歩でも利用する方が多い

[元石町]

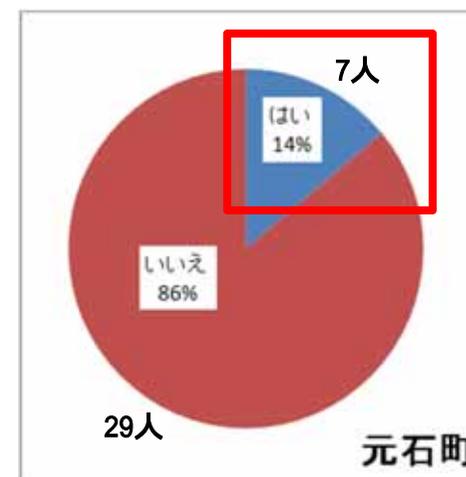
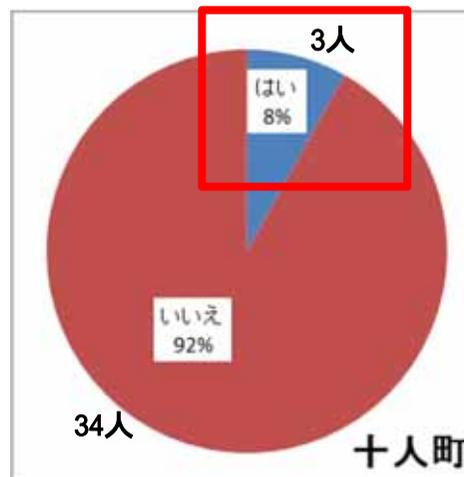
- ・元石町は**エリアも広く**、十人町住民よりは**様々なスーパー**を利用している方が多い
- ・十人町に比べて、比較的近いまいづるの利用率が高い
- ・特に女性を中心に**買物の内容によって**、利用する店を変える方が目立った



# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

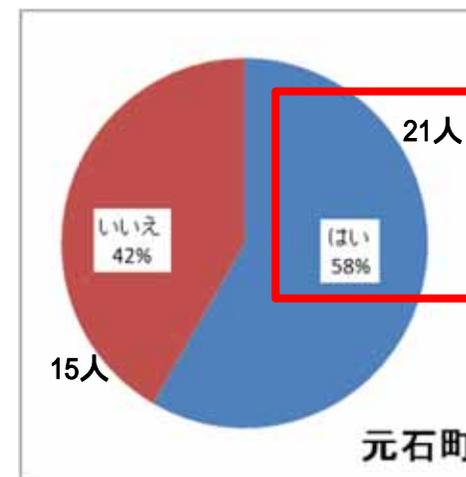
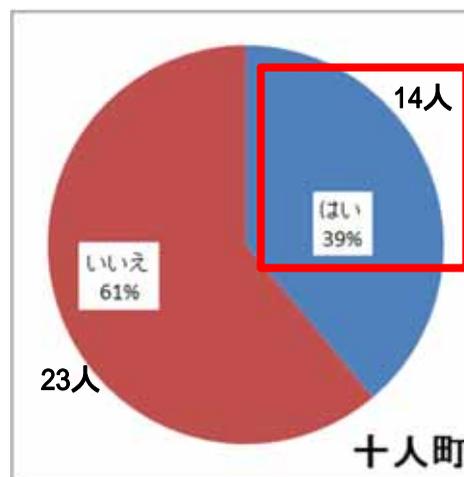
## ◆現在買物に困っている？

- ・自分で行けない方でも、**家族等に依頼する**などして、何とか買物ができている状況にある方多いため、買物に行けなくて**困っている方は少ない**
- ・雨の日や体調を崩している時、また最近足腰が弱ってきて困っている方もおられた。



## ◆今後買物への不安はある？

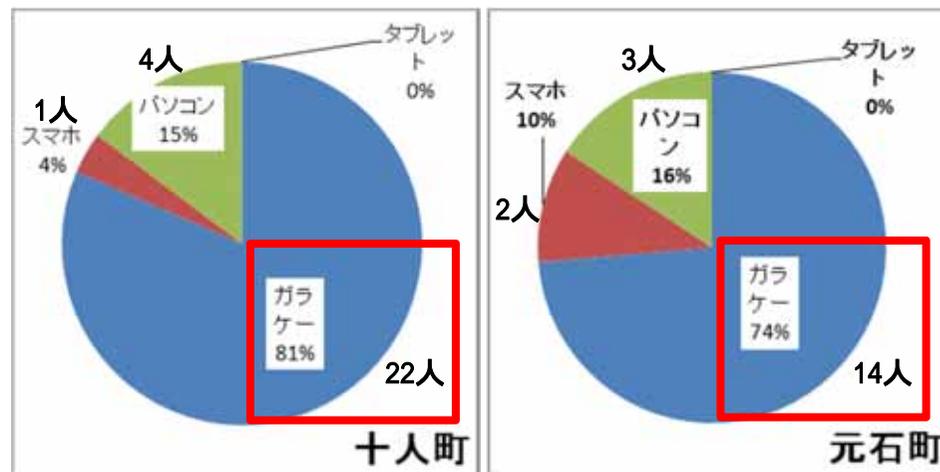
- ・今後に不安を感じている方は、近くに店がない**元石町で約6割**、近くにある**十人町でも約4割**の回答があった
- 今後いつ足が悪くなったり、病気になったりして、行けなくなった場合を考えて不安に思われている方が多い



# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

## ◆ICT機器の利用状況・リテラシー等

- ・約8割がガラケーユーザー
- ・インターネット利用はほとんどなく、メールまたは電話等の利用が主



## ◆ICTを利用した買物に興味がある人

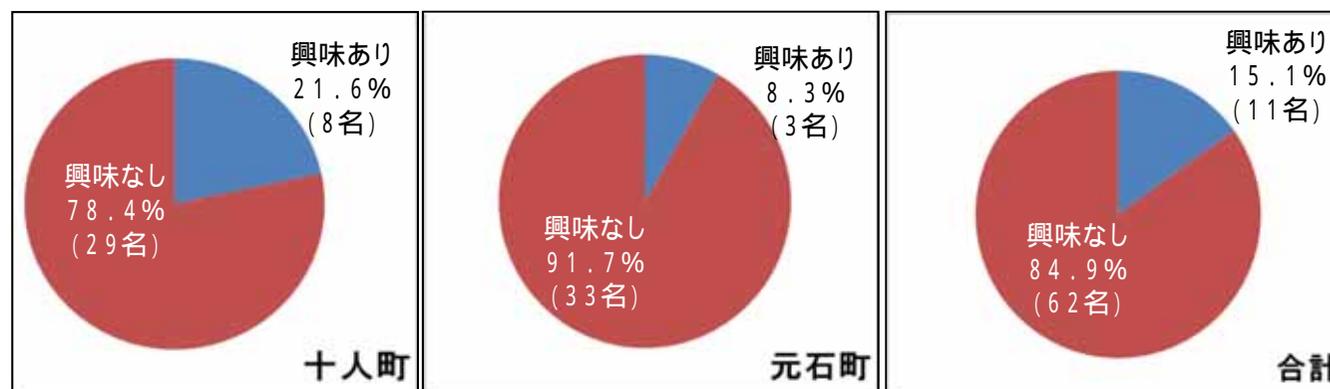


僅か15%!

[内訳]

十人町21.6%

元石町8.3%



＜興味を示していない方の主な理由＞

「操作が煩わしい」、「個人情報への心配」、「クレジット決済への不安」

「実際に自分の目で見て買いたい」が主な理由として挙がっている

# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

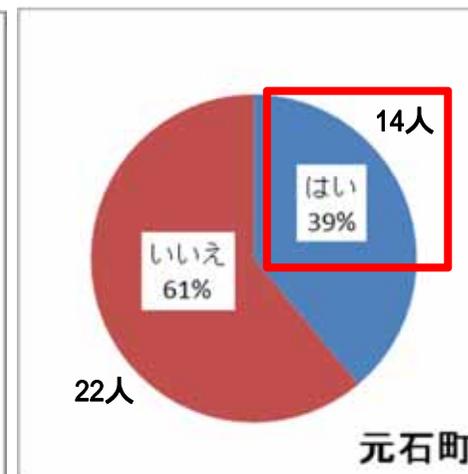
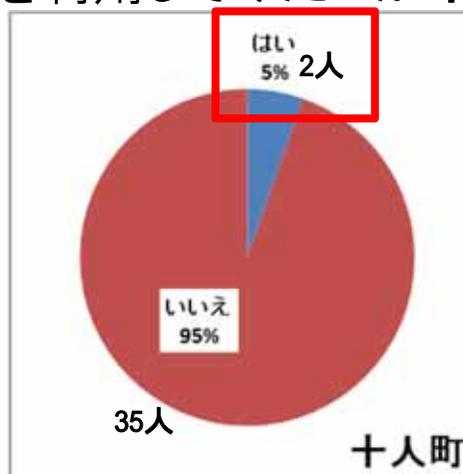
## ◆本事業(拠点でのネットショッピング)を利用してみたいか？

・まいづるネットスーパーの認知度は、  
十人町19.4%、元石町58.3%

・本事業を利用してみたい方は、  
十人町5%、元石町39%

→ 十人町は、拠点施設(スマイル)までの距離がトライアルと差がないことから「いいえ」が多くなったものと考えられる。

→ 元石町は、トライアルよりも拠点施設の方が近く、また、まいづる利用者が多いことから「はい」が多くなったものと考えられる。



# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

## ◎調査結果より

仮説	調査結果の分析
仮説① 『現在』買物に困っている方は存在する	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 現在困っていると感じている方は少数(約1割程度)</li> <li>◇ しかし、約5割の世帯で、自分で買物ができていない現状がある</li> </ul>
仮説② 買物に困っている方には、各々に様々な要因がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 「足が悪くて歩けない」、「最近車の運転をやめた」、「雨の日や風邪を引いた時」、「重たいものが持てない」など様々な要因がある</li> </ul>
仮説③ ②の要因において、ICTで解決し得るものがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ネットスーパーを利用することで、移動する手間、重たいものを運ぶ手間を省くことが出来るため、②の要因をICTで解決し得る。</li> <li>◇ しかし、ICTへの不安をなくすことが重要となってくる。</li> <li>◇ 元石町においては、約4割の方が本事業に関心を持たれているため、その方々にとって買物の問題を解決し得る可能性がある。</li> </ul>
仮説④ 現在は困ってなくても、将来的な不安を抱えている方がいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 将来的に、怪我や体調を崩したり、身体的な問題で移動困難になること、家族や他人に依頼できなくなることが発生することを考えると買物に不安を感じる方が、両町合せて約5割(十人町4割・元石町6割)</li> </ul>
仮説⑤ ICTでの対策を行う上で、利用者側のICTの使いこなし支援が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ICTの操作について「煩わしさ」「不安」を感じている方が多くおられるため、まずは利用者側のICT使いこなし支援を行う必要があると考える</li> </ul>



本事業に比較的関心を示している元石町住民を対象を絞り、実証実験を実施  
 ※施設利用者はケアマネージャーより選定いただいた方を対象に実施

# 議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

H28年度

	1月	2月	3月
唐津地区	幹事会報告	実証準備 ・環境 ・つかいこ なし	幹事会報告
多久地区	唐津の動向を踏まえて再協議予定		

H29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
唐津地区	幹事会報告	総会で報告	実証展開				幹事会報告			分析評価	幹事会報告	報告書作成	幹事会報告
多久地区	唐津の動向を踏まえて再協議予定												

## 【参考資料】事業の概要

[目的] 様々な要因により増加傾向にある買物困難者への支援として、ICTを用いた取組の有効性・課題等について明らかにする。

[内容] 買物困難者(※)が、共同で利用する拠点施設においてICTを利活用することで買物が便利になったと実感してもらう。

※現在は、何かしらの方法(デイサービスのコース、同居家族、自ら運転)により買物を賄っているが、近い将来に買い物困難となる可能性がある方を含む。

[実証パターン]

① ネットスーパーモデル 【唐津エリア】

拠点付近の実態調査実施

既存のネットスーパーのシステムを用いて、主に利用者の使いこなしの部分に着目した実証事業を実施

② 商店街モデル 【多久エリア】

拠点選定難航で、休止中。唐津の動向を踏まえて再協議予定

小規模商店街と連携した、持続可能な買い物困難者対策の手法について実証

### < 買物困難者支援実証事業×ICT利活用促進調査研究 >

【買物困難者支援実証事業PT】

- ・買物環境整備
- ・ICT機器使いこなし支援
- ・地域連携



【佐賀大学経済学部羽石研究室】

- ・買物拠点周辺地域住民・施設利用者等へのヒアリング・調査
- ・分析

## 【参考資料】まいづる999宅配お届け便の概要

- 注文方法  
「ネット便」または「電話・FAX注文」
- 会費 515円/月
- 配達料 2,000円以上 → 無料  
2,000円未満 → 102円
- 決済方法  
「口座振替」のみの対応
- システムベンダー  
フレッシュシステムズ(株)(三重県)
- 配達不在時の対応  
玄関先に専用ボックスで置いておく
- 宅配担当スタッフ  
5名以内(正規職員は1名)



まいづる百貨店 83周年  
HOME | 店舗紹介 | まいづる999 | 会社案内 | 求人情報 | お問い合わせ | サイトマップ

MAZURU 999 まいづるスリーナインの  
生鮮食料品 宅配お届け便  
個別宅配

お店の価格そのまま! 新鮮さそのまま!  
専属ドライバーがご自宅までお届けします!

毎日のお買物、お困りありませんか?



MAZURU 999 ネット便

12月9日(金)配達  
購入商品はありません  
06日0点0分

価格は本体価格で表示しております  
たばこ・市指定ゴミ袋・粗大ゴミ処理券は税込価格で表示しています

数量	画像	品名	単価	商品番号	登録日
1		まいづる特選低 温殺菌 うまさ甘 風味生乳 1000ml	¥228	12202	16/09/09
1		佐賀県産さかひ	¥1,980	13736	16/10/19
1		0%天然素材 レーズ6枚切	¥180	16804	16/12/08

その日の特売品も注文できる!

## 【参考資料】ユーザー情報等・課題

### まいづる999宅配お届け便のユーザー情報・利用件数等の情報

- ユーザー情報
  - ◇登録会員数 250～300程度（共働きの母親、60代以上のシニア層が多い）
  - ◇利用者の特徴 「身体が不自由で、自身で車を運転できない方」「普段店に連れていってくれる家族が不在の時に、買物が必要になった方」「共働きで日中に買物にいけない母親」等
- 注文件数等
  - ◇1日平均20～40件程度（特売品の有無で差がある）
  - ◇注文種別の比率は（ネット注文）：（電話・FAX注文）＝7：3
  - ◇若い方は「ネット注文」、シニア層は「電話・FAX注文」が主となっている
  - ◇注文が多い商品は、主には「食材（野菜・肉・魚）」、「調味料」、たまに「雑貨品」「紙製品」「洗剤」なども注文がある
- 広報について
  - ◇「特売チラシ内における宣伝」「日曜にチラシポスティング」のみ

### まいづる999宅配お届け便の抱える課題

- 月平均で5～6件の新規入会はあるものの、登録者がなかなか伸びない。
- 通常品による安定した注文で運用をまかないたいが、特売品狙いで利用される方が多い
- 「電話・FAX注文」は職員が手打ち入力をするため、リスクと負担が大きいので、（特にシニア層の）ネット注文が増えてほしい
- ネット注文の場合、利用者との会話もなく、配達時も不在が多いので、利用者との接点がない  
⇒ 鮮度など状態を気にされる生鮮品のピッキングが難しい
- UIの改良や口座振替以外での決済について、問い合わせがあることもあるが、システムベンダーにすべて運用を委託しているために、対応ができない状況にある。改良には相当額が必要

## 【参考資料】買物拠点協力施設の概要

項目	内容
施設名	「セカンドハウス」
施設種別	小規模多機能型居宅介護施設 デイサービス(通い)を中心に、ショートステイ(泊り)やホームヘルプ(訪問)のサービスを提供
運営者	(株)スマイルソーシャルワーカーズ
所在地	唐津市町田5丁目 (JR唐津駅から南へ約700m) *同敷地内に、グループホームの「シェアハウス(9名入所)」も設置
利用者	現在28名登録されていて、一日平均15名程度
スタッフ	利用者3名に対して1名配置。一日平均5名程度
インターネット環境	・インターネット回線は引かれていて、Wi-Fi環境も整備 ・利用者・職員の食材等を、職員が定期的にまいづるネットスーパーで注文



セカンドハウス外観



シェアハウス外観



施設にまいづる配達中

直線距離300M以内にスーパー・コンビニ等がない

## 【参考資料】買物拠点協力施設の概要

項目	内容
買物支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午後の外出時や自宅へ送る際に、買物に連れていくことあり (一斉スケジュールではなく、個別対応サービスのため、比較的対応し易い)</li> <li>・連れて行く店は決まっていない。トライアルやコンビニに行くことが多い。</li> <li>・利用日外の登録者の急なお願い(買物や金融)に対しても臨機応変に対応</li> <li>・介護保険外のサービスについても「付加価値」として重要視</li> </ul>
1日のスケジュール	<p>*利用者一斉サービスではない(送り迎えの時間が、利用者によって異なる)ため、一日のスケジュールは流動的である。</p> <p>&lt;基本的な一日のスケジュール&gt;</p> <p>迎え(9:00~10:00が多い) → 施設到着 → 健康チェック          → 午前プログラム(10:00~12:00) ※体操、入浴、レクリエーション等          → 昼食・休憩(12:00~) → 午後プログラム(14:00~16:00) ※          外出がメイン → 送り(16:00~17:00が多い)</p> <p>※この後、利用者によっては夕食、さらには宿泊という利用者あり</p>

## 【参考資料】協力施設の本事業への期待・課題等

### 1) 本事業に対する期待すること

協力に対して大変前向きに捉えてもらえ、サービス向上に期待を持たれている

- 通所者に対するサービスの中で、買物支援に人手がとられている(1回あたり30~1時間・職員1人が張り付き) ⇒本事業によって、サービスの効率化が図れる
- “社会福祉貢献”につながるサービスを行いたいという思いから、通所者だけでなく、近隣の住民にも何かしらのサービスを提供できる「拠点」となりたい  
⇒ 近隣の住民にとっての「買物」及び「コミュニケーション」の場として提供できれば
- 来年度以降、市との交渉により介護予防高齢者(要支援者含)を受け入れることができるようになった時、すぐにサービスが提供できるように本事業で知見を得たい ※後述「3)問題点・課題」参照
- 小規模多機能施設は、「利用者一斉スケジュールでなく、サービスも柔軟に行える」、「市が設置エリアを指定していて、市内に多く点在」などから、本事業のように、地域の買物・交流拠点としての機能を果たすのに適しているのではないか。

### 2) 本事業に対する進め方

端末は簡単操作に、使いこなし支援は個別対応で(職員の負担は想定済み)

- 『朝食支援が手薄』ただし、『高齢者に最初からネットスーパーをフルに使うのは困難』  
⇒最初は、選択肢を朝食メニュー(パン、牛乳等)に限定して始めてはどうか。  
⇒ネットスーパーの「お気に入り機能」を利用することで実施可能  
※まいづるからは、施設における注文・配達分のものについては、手数料なしを社長了承済み
- ネットショッピング(使いこなし支援も含む)の時間は、通所者のスケジュールが統一ではない  
⇒プログラムに組み込むのではなく、希望する利用者に個別に対応
- 利用者に職員が操作をお願いされる等、スタッフにかかる負担は想定済み

## 【参考資料】協力施設の本事業への期待・課題等

### 2)本事業に対する進め方

- 使用端末については、通所者(主に80代シニア)には、タブレット端末は困難と思われる。TVによる簡易操作タイプの端末の方が望ましい
- 周辺住民からの利用については、1日に4~5人程度の利用対応であれば、負担ではないと思われるが、あまりに増えすぎると対応は難しい
- 移動販売車もあるとさらに良いと思う ⇒ 御用聞き坂本様も連携依頼？

### 3)本事業に対する問題点・課題

「朝食支援」「ケアマネによる対象選別」等、スモールスタートを望まれている

- 通所者の中には、認知症を患っている方が少なくない。認知症の患者を対象に実証をおこなうと(買った・買ってないなどの)トラブルが起こる可能性あり
  - ⇒ケアマネージャーによって、実証対象者を選定
  - ⇒ごく少数の通所者から始めて、便利さを実感して頂いた後、一度評価を行い、少しずつ利用者を拡大していければと思う
- 介護保険対象者はどうしても生活全般において支援が必要な方々であるので、実際問題、本事業の目的を果たすことは困難であると思う。
  - ⇒介護予防高齢者を対象にしてこそ、効果が高い事業だと思う
- 最初のステップとして、施設のアカウトを利用して、注文・決済を行うことは可能
  - ⇒少しずつ自宅でも利用したい人が出てくれば、個人のアカウントを作成
  - ※ただし、実際は施設のアカウトを利用し続ける方がほとんどになると思われる

# 【参考資料】事業イメージ

## ネットスーパーモデル



通所者及び  
買物拠点周辺住民  
(元石町または十人町)

### 支払い

- < 想定予算規模 >
- ◇ 光BOX・・・12,960円
- ◇ 液晶テレビ(40型)・・・約100,000円
- ※ その他、「使いこなし支援者旅費」が発生
- Wi-Fiは施設のものを利用

## 【参考資料】使用端末(環境チームにより検討中)

### (候補1) みまもりテレビ電話パック、光BOX搭載アプリについて

#### 参考:みまもりテレビ電話パック

ボタン一つで指定の宛先にTV電話が掛けられる。  
標準画質+高音質(ひかり電話)



介護事業者との共同開発により、つなぐ・切るの単純動作  
相手端末は、タブレットも対応可能(有料アプリ)

光BOXにはインターネット上の動画コンテンツを視聴したり、ホームページを表示する機能などあり、高齢者のインターネットリテラシー向上にも活用できる。

また、囲碁やカラオケ、健康づくり体操、介護レクなど有料、無料の各種アプリケーションの利用も可能となっていることから、買い物拠点をベースとした、高齢者活性化施策や、防災情報提供などにも活用可能。  
(アプリの多くはインターネット接続で利用可能)

### (候補2) iPad2について



◇佐賀県高度情報化推進協議会所有のiPad2 22台

◇仕様については以下の通り

[モデル]	Wi-Fiモデル
[容量]	16GB
[CPU]	Apple A5 (デュアルコア 1GHz)
[ディスプレイ]	9.7インチ
[サイズ・重さ]	高さ241.2mm 幅185.7mm 奥行9.4mm 重量601g

# 議題(2)

次期中中期推進項目  
及び来年度事業の  
方向性について  
【協議事項】

## 議題(2) 次期中期推進項目及び来年度事業の方向性について

### 現在の中期推進項目の評価

中期推進項目	中期推進項目の評価	備考
①情報リテラシー・セキュリティの普及推進	昨今の情報セキュリティを取り巻く環境を状況を踏まえると、引き続き取組を充実させていく必要性あり。	初心者向けのみならず、普段使いしている層への働きかけも必要
②初心者向けのインターネット利活用普及推進	本協議会事業の主たる目的である「ICT利活用」の基本となる部分であり、今後とも継続の必要性あり。	なお、今後実施予定の受講者の追跡調査結果を踏まえ、事業内容への見直しが必要であれば見直す。
③県民が実感できる効果的なICTの利活用促進	現在関連事業(買物困難者支援実証事業)継続中。高情協事業として一定の「成果」を得るまでは継続する必要性あり。	プロジェクトの実施までを本協議会内部で行うか、対象分野の選定及び調査までとするかは次のテーマ選定までに要検討

## 議題(2) 次期中期推進項目及び来年度事業の方向性について

H27～28年度	H29～30年度(案)
<p>①情報リテラシー・セキュリティの普及推進(H26～)</p> <p>スマートフォンやSNS等の急速な普及に対し、利用者側の情報リテラシー・セキュリティの普及が著しく遅れているため、重点的に普及推進を図る必要がある。</p> <p>②初心者向けのインターネット利活用普及推進(H26～)</p> <p>できるだけ多くの県民がICTの恩恵を受けられるよう、特にインターネット初心者に対してより効果的な普及推進を図る必要がある。</p> <p>③県民が実感できる効果的なICTの利活用促進(H27～)</p> <p>医療・福祉、健康増進、観光、農林水産業や商工業等において、県民が「効果を実感できるICTの利活用」促進に資するため、佐賀県内の企業、自治体、大学などの産学官の連携を促して、ICTを活用した「仕組み」を検討し、きっかけとなる取組の企画立案や核となる人材育成等を行う。</p>	<p>①情報リテラシー・セキュリティの普及推進【継続】</p> <p>スマートフォンやSNS等の急速な普及に対し、利用者側の情報リテラシー・セキュリティの普及が<u>未だ十分とは言えないことから、今後とも</u>重点的に普及推進を図る必要がある。</p> <p>②初心者向けのインターネット利活用普及推進【継続】</p> <p>できるだけ多くの県民がICTの恩恵を受けられるよう、特にインターネット初心者に対してより効果的な普及推進を図る必要がある。</p> <p>③県民が実感できる効果的なICTの利活用促進【継続】</p> <p>医療・福祉、健康増進、観光、農林水産業や商工業等において、県民が「効果を実感できるICTの利活用」促進に資するため、佐賀県内の企業、自治体、大学などの産学官の連携を促して、ICTを活用した「仕組み」を検討し、きっかけとなる取組の企画立案や核となる人材育成等を行う。</p>

## 議題(2) 次期中期推進項目及び来年度事業の方向性について

### 来年度事業の方向性【案】

#### (1) ICTに関する講演会等【中期推進項目 関連】

(H28:ICT利活用講演会[5月・11月]、ICT利活用事例視察[2月])

⇒ 今年度と同様の方向性で実施

#### (2) ICT普及啓発事業

##### 情報リテラシー・セキュリティ事業【中期推進項目 関連】

(H28:関係機関・団体との連携、ネットの安全・安心けいはつコンクール)

⇒ 今年度と同様の方向性で実施

##### ICT普及に関する講習会【中期推進項目 関連】

(H28:はじめてのスマホ・タブレット講座[7月・9月])

⇒ 初心者向け講習会2回に加え、⑤買物実証事業と関連して、唐津地区における「ネットショッピング」をテーマとした講習会を実施

### 来年度事業の方向性【案】

#### (2) ICT普及啓発事業

ICT利活用促進調査研究[中期推進項目 関連]

(H28:買物困難者支援実証事業との連携 [地域住民へのリサーチ等])

⇒ 今年度と同様、⑤事業と連携して実施

#### ICT利活用推進団体支援事業

(H28:中期推進項目に該当する事業への補助 [3団体に補助交付])

⇒ 今年度と同様に実施

#### ネットワーク・広報事業

(H28:HP, FB, YouTubeに加え、Twitterを運用開始)

⇒ 今年度と同様の方向性で運用

新HPにおける『会員専用ページ』運用の活性化が課題

## 議題(2) 次期中期推進項目及び来年度事業の方向性について

### 来年度事業の方向性【案】と事業運営上の課題

#### (2)ICT普及啓発事業

##### 買物困難者支援実証事業

(H28:唐津地区における買物拠点決定、運用についての検討・準備)

◇28年度の調査結果を受けて、比較的関心が高い地区(元石町)の住民を対象とした「ネットショッピングについてのICT講習会」を開催

#### 【事業運営上の課題】

##### ◇PTの再考

- ・前リーダー(NTT篠田副支店長)が転任後、後任が決まらないまま。
- ・メンバーが多すぎて話が進まない
  - ⇒ 本事業のコアとなるハードやインフラを自由に扱える環境の方が適任というPT内の意見
  - ⇒ メンバー及びリーダーの再構成が必要

##### ◇実証事業におけるゴール等の再確認

- ・ターゲット(どこのどのような人?)
- ・アプローチ(何をどのように支援?)
- ・ゴール(どこまで持っていく?)

# 議題 ( 3 )

来年度第1回ICT  
利活用講演会  
テーマ選定について  
【決議事項】

# 議題(3) 来年度第1回ICT利活用講演会テーマ選定について

## 参考

年度	過去5年間の講演会のテーマ
H28	・情報セキュリティ【第1回】 ・防災×ICT
H27	・情報セキュリティ【第1回】 ・テレワーク ・森本CIOの5年間を振り返る
H26	・O2O【第1回】 ・シェア
H25	・ビッグデータ【第1回】 ・アマゾンの取組・現状・戦略 ・メディアの電子化
H24	・クラウドシステムとソーシャルメディア【第1回】 ・iPhone、iPad国内最新導入事例 ・企業におけるソーシャルメディアの活用

## <アンケート結果より>

順	関心あるテーマ	5月講演会	11月講演会	H28総計
1	IoT	29	34	63
1	AI(人工知能)	31	32	63
3	企業向け 情報セキュリティ	33	29	62
4	ビッグデータ	15	30	45
5	オープンデータ	9	35	44
6	クラウド	19	21	40
7	個人向け 情報セキュリティ	17	21	38
8	IT人材育成	10	21	31
9	ソーシャルメディア	7	20	27
9	テレワーク	14	13	27

### 来年度第1回ICT利活用講演会のテーマ案 『IoT + サイバーセキュリティ』

(提案理由)

- ICT業界における旬な話題であり、今年度の講演会参加者におけるアンケート結果を見ても、関心を持たれている方が大変多いため（「AI」と並んでトップ）
- 近年急速に普及しているIoT機器におけるセキュリティ脆弱性について大変問題となっているため、サイバーセキュリティにも触れる形での内容とした方が良いと考えるため

# その他(1)

次期幹事・各G  
公募について

# その他(1) 次期幹事・各G構成員公募について

## 規約等の確認(幹事関連抜粋)

<佐賀県高度情報化推進協議会規約より抜粋>

### 第2章 会員

#### (役員)

第8条 本会に次の役員を置く。

#### (3) 幹事 25名程度

2 幹事については、別に定める佐賀県高度情報化推進協議会幹事会設置・運営規定により選出し、総会において承認する。

#### (役員任期)

第10条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

## その他(1) 次期幹事・各G構成員公募について

### 規約等の確認(幹事関連抜粋)

＜佐賀県高度情報化推進協議会幹事会設置運営規定より抜粋＞

(設置)

第2条 幹事は、佐賀県高度情報化推進協議会の会員から推薦を含む公募を通じて選出する。

2 公募は、別表の区分に基づき、「メディア・通信・電器など」「ソフトウェア・情報処理サービスなど」「市民社会組織・個人」「各種団体・学校」「地方自治体・特別会員」のグループごとに行う。

3 公募の結果をもとに各グループより5名程度を選出し全体で25名程度の幹事を決定する。

4 「地方自治体・特別会員」グループについては、市から1名、町から1名の幹事を選出する。

## その他(1) 次期幹事・各G構成員公募について

【平成29～30年度幹事改選の公募期間】

平成29年1月13日(金)～2月10日(金)



<1月30日現在における応募会員>

「メディア・通信・電器など」

応募なし

「ソフトウェア・情報処理サービスなど」

応募なし

「市民社会組織・個人」

NPO法人シニアネット佐賀(香月様)、

NPO法人シニア情報生活アドバイザー佐賀(久野様)

「各種団体・学校」

応募なし

「地方自治体・特別会員」

応募なし

合計 ( 2 ) 会員

自薦、他薦は問いません。どうぞ宜しくお願いいたします！

# その他(1) 次期幹事・各G構成員公募について

(参考)過去12年間における市町幹事

年度	市町	役職	氏名(敬称略)	市町	役職	氏名(敬称略)
H17	佐賀県 市長会	事務局長	江口 光俊	佐賀県 町長会	事務局長	寺町 博
H18						
H19	なし					
H20	唐津市	建設部副部長兼務 情報基盤整備課長	山岡 裕明	白石町	企画部情報推進課長	鶴崎 進
H21	佐賀市	企画調整部 行政管理課長	江副 元喜		企画課長	鶴崎 俊昭
H22			中島 博樹			
H23			眞崎 武浩			情報推進課長
H24						企画課長
H25	鹿島市	企画財政課長	打上 俊雄	基山町	企画政策課長	木村 司
H26			土井 正昭			
H27	武雄市	広報課長	井上 将治	有田町	まちづくり課副課長	吉永 繁史
H28			大野 貴宏		財政課長	

# その他(1) 次期幹事・各G構成員公募について

## 各G設置要綱

＜佐賀県高度情報化推進協議会企画運営グループ設置要綱より抜粋＞

(組織)

第3条 企画運営グループの構成員は、高情協の会員のうち参加を希望する者とし、5名程度とする。

構成員の任期は、幹事の任期と同一とする。

＜佐賀県高度情報化推進協議会広報グループ設置要綱より抜粋＞

(組織)

第3条 広報グループの構成員は、高情協の会員のうち参加を希望する者とし、5名程度とする。

構成員の任期は、幹事の任期と同一とする。

## その他(1) 次期幹事・各G構成員公募について

【平成29～30年度各G構成員の公募期間】

平成29年1月13日(火)～2月10日(金)



<1月30日現在における応募会員>

◎企画運営グループ  
応募なし

合計 ( 0 ) 会員

◎広報グループ  
応募なし

合計 ( 0 ) 会員

自薦、他薦は問いません。どうぞ宜しくお願いいたします！

# その他(2)

## 第4回幹事会 開催日程について

# その他(2) 第4回幹事会開催日程について

□ …… 第4回幹事会開催日(3月23日(木)14:00 - 16:00)

※場所は「メートプラザ佐賀」

